

平成 2 9 年度豊川市水道事業会計補正予算（第 1 号）

~~第66号議案~~

平成29年度豊川市水道事業会計補正予算（第1号）

（総 則）

第1条 平成29年度水道事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（資本的支出の補正）

第2条 予算第4条本文括弧書を「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,499,610千円は、減債積立金100,000千円、建設改良積立金120,000千円、過年度分損益勘定留保資金650,279千円、当年度分損益勘定留保資金537,718千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額91,613千円で補てんするものとする。」に改め、資本的支出の予定額を次のとおり補正する。

款 項	支 出		計
	既決予定額	補正予定額	
	千円	千円	千円
1 資本的支出	1,927,623	19,176	1,946,799
1 建設改良費	1,681,714	19,176	1,700,890

（継続費の補正）

第3条 継続費を次のとおり変更する。

款	項	事業名	補 正 前			補 正 後		
			総 額	年 度	年割額	総 額	年 度	年割額
1 資本的支出	1 建設改良費	中山配水池改修事業費(土木)	千円		千円	千円		千円
			410,401	平成28年度	158,825	429,577	平成28年度	158,825
				平成29年度	251,576		平成29年度	270,752

~~平成29年12月1日提出~~

~~豊川市長 山 脇 実~~

平成29年度豊川市水道事業会計補正予算（第1号）に関する説明書

平成29年度豊川市水道事業会計補正予算実施計画

資本的支出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1 資本的支出			千円 1,927,623	千円 19,176	千円 1,946,799	
	1 建設改良費		1,681,714	19,176	1,700,890	
		2 営業用設備費	383,117	19,176	402,293	更正増

平成29年度豊川市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位 千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	345,435
減価償却費	1,099,288
固定資産除却費	40,033
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 427
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 1,428
法定福利費引当金の増減額 (△は減少)	△ 429
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,208
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△ 18,000
長期前受金戻入額	△ 351,954
受取利息	△ 4,832
支払利息	60,223
有形固定資産売却損	1
有形固定資産売却益	△ 894
未収金の増減額 (△は増加)	△ 25,138
未払金の増減額 (△は減少)	△ 23,720
たな卸資産の増減額 (△は増加)	846
小計	1,124,212
利息の受取額	4,832
利息の支払額	△ 60,223
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,068,821
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 1,845,346
有形固定資産の売却による収入	1,473
国庫補助金等による収入	35,146
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	15,204
その他の負担金収入	339,159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,454,364
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	97,500
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 245,909
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 148,409
資金増加額 (又は減少額)	△ 533,952
資金期首残高	3,368,497
資金期末残高	2,834,545

継 続 費 に

関 する 調 書

款	項	事業名	全 体 計 画			
			年度	年 割 額		左の財源内訳
				千円	千円	損益勘定 留保資金
1資本的支出	1建設改良費	中山配水池 改修事業費 (土木)	28	補正前 の 額	158,825	158,825
				補正後 の 額	158,825	158,825
			29	補正前 の 額	251,576	251,576
				補正後 の 額	270,752	270,752
			計	補正前 の 額	410,401	410,401
				補正後 の 額	429,577	429,577

平成27年度末 までの支払 義務発生額	平成28年度末 までの支払義務 発生(見込)額	平成29年度 支払義務 発生予定額	平成29年度末 までの支払義務 発生予定額	平成30年度以降 の支払義務 発生予定額	継 続 費 の 総額に対する 進 捗 率
千円	千円	千円	千円	千円	%
	158,825		158,825		38.7
		251,576	251,576		61.3
		270,752	270,752		63.0
	158,825	251,576	410,401		100.0
	158,825	270,752	429,577		100.0

平成29年度豊川市水道事業予定貸借対照表（当年度分）

（平成30年 3月31日）

（単位 千円）

資 産 の 部		
1 固定資産		
(1) 有形固定資産		
イ 土地	606,756	
ロ 建物	847,148	
減価償却累計額	<u>△ 502,782</u>	344,366
ハ 構築物	44,870,939	
減価償却累計額	<u>△ 19,083,104</u>	25,787,835
ニ 機械及び装置	5,108,514	
減価償却累計額	<u>△ 3,663,828</u>	1,444,686
ホ 車両及び運搬具	23,633	
減価償却累計額	<u>△ 19,890</u>	3,743
ヘ 工具器具及び備品	177,317	
減価償却累計額	<u>△ 140,124</u>	37,193
ト 量水器	219,544	
減価償却累計額	<u>△ 107,363</u>	112,181
チ 建設仮勘定	<u>32,210</u>	
有形固定資産合計		28,368,970
(2) 無形固定資産		
イ 電話加入権	<u>372</u>	
無形固定資産合計		<u>372</u>
固定資産合計		28,369,342
2 流動資産		
(1) 現金預金		
		2,834,545

(2) 未収金	481,318	
貸倒引当金	<u>△ 2,535</u>	478,783
(3) 貯蔵品		12,450
(4) その他流動資産		<u>1,000</u>
流動資産合計		<u>3,326,778</u>
資産合計		<u><u>31,696,120</u></u>

負債の部

3 固定負債		
(1) 企業債		
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>2,483,657</u>	
企業債合計		2,483,657
(2) 引当金		
イ 退職給付引当金	243,907	
ロ 修繕引当金	<u>201,734</u>	
引当金合計		<u>445,641</u>
固定負債合計		2,929,298
4 流動負債		
(1) 企業債		
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>258,753</u>	
企業債合計		258,753
(2) 未払金		724,699
(3) 前受金		455

(4) 引当金		
イ 賞与引当金	21,803	
ロ 法定福利費引当金	<u>3,972</u>	
引当金合計		25,775
(5) その他流動負債	<u>56,016</u>	
流動負債合計		1,065,698
5 繰延収益		
(1) 長期前受金	16,762,398	
収益化累計額	<u>△ 7,190,752</u>	
繰延収益合計		<u>9,571,646</u>
負債合計		<u><u>13,566,642</u></u>

資本の部

6 資本金		14,278,086
7 剰余金		
(1) 資本剰余金		
イ 工事負担金	1,463,758	
ロ 加入金	168,118	
ハ 受贈財産評価額	179,476	
ニ 補助金	<u>17,969</u>	
資本剰余金合計		1,829,321
(2) 利益剰余金		
イ 減債積立金	624,104	
ロ 利益積立金	172	
ハ 建設改良積立金	121,115	

ニ 当年度未処分利益剰余金	<u>1,276,680</u>	
利益剰余金合計		<u>2,022,071</u>
剰余金合計		<u>3,851,392</u>
資本合計		<u>18,129,478</u>
負債資本合計		<u><u>31,696,120</u></u>

注記

I. 重要な会計方針

1 資産の評価基準及び評価方法

- (1) たな卸資産の評価基準及び評価方法
- ・貯蔵品 先入先出法による原価法

2 固定資産の減価償却方法

- (1) 有形固定資産
- ・減価償却の方法 定額法（ただし、取替資産については取替法による。）
 - ・主な耐用年数
- | | |
|----------|--------|
| 建物 | 15～38年 |
| 構築物 | 40年 |
| 機械及び装置 | 8～15年 |
| 車両及び運搬具 | 4～5年 |
| 工具器具及び備品 | 5～15年 |

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当事業年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。なお、計上額は「退職手当に係る負担金の取扱いに関する確認書」に基づき、水道事業会計が負担すべき退職手当の総額としている。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に係る法定福利費の支払いに備えるため、当事業年度末における支払い見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定貸借対照表等関連

1 引当金の取り崩し

(1) 退職給付引当金の取り崩し

当事業年度において、退職手当支給のため、退職給付引当金 19,025 千円を取り崩すこととする。

(2) 賞与引当金の取り崩し

当事業年度において、6月の期末手当及び勤勉手当支給のため、賞与引当金 23,231 千円を取り崩すこととする。

(3) 法定福利費引当金の取り崩し

当事業年度において、6月の期末手当及び勤勉手当支給に係る法定福利費の支払いのため、法定福利費引当金 4,401 千円を取り崩すこととする。

(4) 修繕引当金の取り崩し

当事業年度において、水管橋修繕費の支払いのため、修繕引当金 18,000 千円を取り崩すこととする。

(5) 貸倒引当金の取り崩し

当事業年度において、不納欠損による損失を計上する予定であるため、貸倒引当金 2,962 千円を取り崩すこととする。

2 修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。

III. セグメント情報の開示

1 報告セグメントの概要

当水道事業会計は、水道事業セグメントの単一セグメントであるため、記載を省略している。

平成29年度豊川市水道事業会計補正予算説明書

資本的支出

款	項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	説明	
1 資本的支出				千円 1,927,623	千円 19,176	千円 1,946,799		
	1 建設改良費			1,681,714	19,176	1,700,890		
		2 営業用設備費			383,117	19,176	402,293	
			60 施設費			362,991	19,176	382,167
合 計				1,927,623	19,176	1,946,799		